

副委員長	<p>を始めている。</p> <p>4 委員長の選任について</p>
------	------------------------------------

(進行：副委員長)

事務局	<p>5 協議事項</p> <p>(1) 令和元年度保育所運営費の概要について (事務局)</p> <p>資料 No. 1 保育所運営費の概要</p> <p>令和元年度保育所運営費の予算。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出として、総額 631,150,000 円。 ・収入として、総額 182,588,000 円。 ・支出額から収入額を差し引いた町の負担額が 448,562,000 円。 <p>園児一人あたりの費用額。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出の総額を年間延べ園児の見込み数、平成 31 年 4 月 1 日現在の園児数に 12 か月を掛けたものを 7,608 人で割ると、1 人当たり 82,958 円となる。うち町負担分 58,959 円。全体の 71.1%となる。 ・保護者の皆様にお支払いいただいている利用者負担額については、13,434 円。全体の 16.2%になっている。 ・国・県支出金・その他 12.7%となっている。 <p>令和元年度西保育園整備関係の予算。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出として、総額 344,257,000 円。 ・収入として、総額 29,379,000 円。
保育長	<p>(2) 令和元年度の保育所運営について (保育長・各園長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近、特に子どもたちの小さな命をなくす事故、事件、災害が多く報道されている。5 月 8 日には、大津市の保育園児が散歩中に事故に巻き込まれ、亡くなるという悲惨な案件があった。保育園では、1 日おいた翌日に遠足を予定していた。遠足前の安全点検はしっかり行っている段階であったが、再度保育園を巡回し、園外散歩における安全指導を行い、散歩ルート of 安全確認の徹底をした。事故直後であったので、遠足で歩いている子どもたちに地域の方々は、「気を付けて行ってね」と温かい声掛けと見守りをして頂いたと報告を受けた。地域に見守られているということはとてもうれしく心強く思い、感謝の気持ちでいっぱいである。

<p>保育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の件で、厚生労働省子ども家庭局保育課より、「保育所等での保育における安全管理の徹底について」の文書も出された。『保育所保育指針や解説書にも示されている通り、保育所外の活動は、保育において、子どもが身近な自然や地域社会の人々の生活に触れ、豊かな体験を得る機会を設けるうえで重要な活動であり、移動も含め、安全に十分配慮しつつ、引き続き積極的に活用していただきたい』といった内容であった。 ・保育指針 第3章 健康及び安全の中の「事故防止及び安全対策」の解説部分では、『保育中の安全管理には、保育所の環境整備が不可欠であり、随時確認し、環境の維持及び改善に取り組む。また、日常的に利用する散歩の経路や公園等についても、異常や危険性の有無、工事箇所や交通量等を含めて点検し、記録をつけるなど、情報を全職員で共有すること。さらに、子どもが家庭においても安全な生活習慣を身につけることができるよう、保護者と連携を図るとともに、交通安全について学ぶ機会をもうけるなど、地域の関係機関と連携して取り組むことも重要である』と記載されている。保育園に対して、また保育士に対しての安全指導、あと一步で事故になるところだったという、ヒヤリハットの収集及び要因の分析を行い、必要な対策を講じるなど、組織的に取り組んでいきたいと考え進めている。特色ある保育木育の中で「子どもを真ん中においた町づくり」を保育のキーワードとして取り組んでいるが、保育全ての中で、子どもと保護者と地域がつながる保育展開を目標としている。 <p>園児数（資料 No.2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年5月1日現在の園児数となっている。 ・南保育園 3歳以上児100名で5クラス。3歳未満児30名。計130名。職員として園長はじめ保育士、調理員、看護師・短時間保育士を含め29名で保育している。 ・西保育園 3歳以上児127名で6クラス。3歳未満児52名。計179名。職員38名で保育している。 ・北保育園 3歳以上児131名で6クラス。3歳未満児54名。計185名。職員41名で保育している。 ・大口中保育園 3歳以上児102名で5クラス。3歳未満児49名。計151名。職員33名で保育している。 ・保育園合計3歳以上児460名。3歳未満児185名。総合計645名のお子さんをお預かりしている。 <p>5月の入所以降、お誕生日を迎えての入所、育児休業明けで仕事復帰される方等のお子さんの途中入所児等、現段階で40名の入所予定児がいる。合わ</p>
------------	---

<p>保育長</p>	<p>せると、現在で年度内685名ほどの園児数になる予定である。 職員数については、短時間保育士が多くなってきており、保育園によっては職員数が多く感じられるところもあるが、どの保育園も園児数と必要職員数は配置基準に適した人数となっている。</p> <p>昨年度までは、定員660名で設定をしていたが、入所希望者が想定外以上になり、今年度より定員数を660名より715名に広げた。しかし、部屋面積の不足により、現在13名ほどの待機児童が発生している。保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけし申し訳なく思っている。待機児童については、転出や保育の必要がなくなった方、また申込みをされていても諸事情で入所されない方等で空きが出てきているので、毎月の入園審査会を経て、入所案内をさせていただいている状況である。</p> <p>今年度、西保育園保育室の増改築を行う。撤去工事は、6月2週目ぐらいから、入る予定である。特に工事の面で西保育園の保護者様にはご迷惑をかけるが、ご理解とご協力をいただきたいと思っている。</p> <p>年間計画（資料 No.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手元の資料は、各保育園別の年間計画となっているので、共通部分の説明をさせていただく。 ・5月 今週より各保育園で保育参観、年少親子試食会。 西保育園については10月に増改築の工事に入る為、運動会ができないので、10月第1週から5月25日（土）に運動会を変更させていただいた。それに伴い、西保育園3歳以上児保育参観及び試食会が、5月から10月に変更し行う。南・北・大口中保育園については、従来の時期に実施する為、西保育園は、運動会と保育参観の時期が入れ替わる。 ・6月 3歳以上児音楽会を予定している。午前中に音楽会を行い、午後には緊急時の引き渡し訓練を行う。緊急時の引き渡し訓練は、地震を想定しメール配信を行い、園児の引き渡し訓練を全園児対象で行う。 ・秋の運動会 10月5日（土） ・南・北・大口中保育園の運動会を各保育園で行う。 ・10月 西保育園3歳以上児の保育参観と年少親子試食会、3歳未満児の保育参観は4保育園でそれぞれ行う。 ・12月7日（土） 3歳以上児対象に生活発表会を行う。 ・2月は、全園児を対象に保育参観を実施する。 ・卒園式については、3月28日が土曜日となるので、今年度は3月27日（金）とする。
------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容については、保育の基となる保育所保育指針の改定が昨年度あり大口町保育園においても、従来の保育を振り返り、改定された保育指針に合わせてながら、子どもの心と体の発達を考慮し、大口町保育園の独自性を加えながら年間保育計画を見直してきた。与えられた保育環境に沿って過ごすだけでなく、子どもの主体性や思いを大切にしながら、遊びこめる保育、遊びの中から学ぶ保育展開を目標としている。 乳幼児の自発的な活動としての遊び、いわゆる主体的な遊びとは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であり、遊びの中から、子どもたちはいろいろなことを学んでいく。 自ら、心が動かされる体験をすることで、おもしろい・不思議・何だろうといった思いが、意欲を生み、好奇心が働いて、実現してみようと思う動機や態度につながっていくといわれている。りっぱな完成型ばかりを求めるのではなく、子どもの思いや過程も大切にしていきたいと考えているので、ご理解をお願いしたい。 ・町立保育園の独自性として、木にふれあい、木に学び、木とともに生きる「木育」を保育に取り入れている。木に触れ、木とともに楽しく遊び、生活し、木からいろいろなことを学んでいる。木育は、作って遊ぶだけでなく、心と体を育てていく。生活や遊びの中で「自然を大切にする」「木は生きている」「生きているものへの思いやりの気持ちを持つ、そして、友達・人への気遣う気持ちを持つ」など心の育ちにも発展し、モノを大切にする心が培われている。年長児の山の遠足、年中親子マイ箸づくり、父母の会の協力をいただきながら、オイスカの森のつみ木広場も開催予定となっている。保護者の理解や協力を得ながら、子どもから保護者へ、更には地域へと広がり、子どもを真ん中においた町づくりができていくことを願って取り組んでいる。
保育長	<p>毎日家庭で行える子育て3か条について（資料No. 4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園と幼稚園の先生で作成した 幼児用の大口町 子育て3か条で、学校用の子育て10か条をもとに作成したものである。（27年度より） 大口町子育て3か条、「子どもに笑顔であいさつしましょう」「子どもの目を見て、会話をしましょう」「子どもをギュッと抱きしめてあげましょう」と書いてあるが、「元気なあいさつ」「目を見て会話」「スキンシップ」を保育の基盤に加え、保育園も家庭も一丸になって子育てに取り組んでいきたいと考えている。 ・各保育園の取り組みについて園長より順番に説明をさせていただく。
南保育園長	資料No. 5—①

・町立南保育園は、園の周りは田畑に囲まれ、四季折々の草花が咲くなど、自然環境にとっても恵まれている。保育目標「豊かな心と丈夫なからだでよく遊ぶ子ども」を基に、大勢の友達と集団生活を送る中で、仲間の中で育ち合える場として、また、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、様々な体験を通して豊かな心を育てる保育をめざしている。

1 木育活動

町立保育園で取り組んでいる「木育活動」の一環として、南保育園では「木を知り、木で遊ぶ中で豊かな心を育む」を基に、それぞれの年齢に合った活動を進めています。昨年度年少児は一年を通して一番身近な「園庭の木」に親しむことを目標にした。春夏秋冬、季節ごとに木の葉や花、実の様子を観察し絵を描き、木の変化を通して名前を覚えた。年中児は、親子でマイ箸作りをした。今年度も予定しており、年明けには仕上げ磨きなどをして完成し給食で使用する予定である。また、年長児は、自分の使っている机や椅子を大切に「ケアする」ということで、やすりを使って磨いた。友達だけでなく物を大切にすることで、思いやりの心や優しい心を育む機会になった。今年度も年齢に応じた木育活動を進めていきたいと思う。

2. 郷土を愛する心を育む活動

大口町歴史民俗資料館の学芸員に、園周辺地域（大口町の南部地域）にまつわる話を聞き、映像や写真を見せてもらった後、実際に現地に行って話を聞いた。自分の住んでいる地域の事を知ることができ、郷土を愛する心を育む芽を大切にしていきたいと思い、今年度も「裁断橋物語」や長松寺の「汗かき地蔵」について学ぶ予定である。また、園児の祖父母の方々にも子ども達と交流する中で一緒に学んで頂けたらと考えている。

3. 地域交流

園児の祖父母に限らず地域の方とフォークダンスを一緒に行い、おやつを一緒に食べるなど、地域の方との繋がりを深めている。昨年度は、地域の方との交流を持つ中で、毎月、保育園が行っている避難訓練に参加して頂いた。地震、火災の避難方法について話を聞いた後に、第1避難場所、第2避難場所、そして地域の避難場所である南小学校まで一緒に避難して頂いた。未満児の子ども達を避難車や乳母車に乗せて避難するのは保育士だけの力では心もとない所があり、地域の方に手伝って頂き、大変心強く、有難く感じた。今年度も地域の方の力をお借りし、是非、一緒に最終避難場所である南小学校まで避難をお願いできればと考えている。

4. 南食育サポートとの食育交流会事業

園北側駐車場沿いにある地域の方の畑を借り、南食育サポートの方に栽培の指導をして頂き、子どもたちは野菜を身近に観察し世話をしている。ま

北保育園長

た、給食の食材に取り入れ「食べる喜び」「人や物への感謝」の気持ちを育てていきたいと思っている。先日もイチゴ、玉ねぎの収穫をして給食の時間に食べた。自分で収穫した物は特別なようで「甘くておいしいね」と言いながら食べる姿が印象的だった。

5. 絵本の読み聞かせ活動

園では、年齢に合わせた季節感のある絵本を毎日読んでいる。保護者の有志の方で「読み聞かせボランティア友ちゃんズ」を結成し、月1回から2回ほど降園前の時間の読み聞かせをして頂いている。子どもたちは絵本の世界の楽しさに浸りながら言葉や想像力を育み、人の話をしっかり聞く力も身に付いてきている。今年度も、6月から活動を始めて頂く予定である。

そして今年度も、様々な活動を通して子ども達が学ぶ意欲を持ち、自分が住んでいる地域に愛着を持って成長できるよう、地域の方との連携を取りながら南保育園ならではの活動の輪を深めていきたいと思う。

資料 No. 5—②

町立北保育園は、5月現在3歳未満児55名、3歳以上児131名、合計186名の子ども達で楽しく園生活を送っている。平成27年度から始まった北保育園建設工事が3年がかりで終了し、昨年度は木の香りやぬくもりのする園舎で、工事のない落ち着いた生活を送ることができた。北保育園建設完成時に年少組だった子ども達がこの春に年長組に進級し、月日の流れを感じている。

1. 自然の中で遊ぶ

北保育園の園庭は今、新緑の季節となり、桜の葉の緑と芝生の緑が青々として、目に優しく心和む園庭となっている。そんな園庭から四季を感じたり、また散歩に出かけては、周囲の木々、草花、畑の野菜、生物などの自然に親しみ、遊び「驚き、不思議さ、美しさ」を感じることができるよう心を育てている。また、危機管理をしっかり行い、安全第一意識を持ち、気を付けて実施していく。

2. 体力作り

園庭に固定遊具はないが、移動式鉄棒、サーキット遊び、ストレッチ体操など様々な遊びを行うことができ、各年次が課題を持って体力作りに取り組んでいる。転んでも怪我をすることが少なく、思いきり園庭を走り回ったり寝転がったりできるのは芝生園庭の良さと感じ、体を十分に動かす遊びを取り入れていきたいと思っている。また、幅3メートルもある広い回廊を使っても運動や遊びを行うことができ、雑巾がけ、手押し車、片足飛び、体操など工夫して室内での体力作りにも取り組んでいる。未満児クラスにも専用の芝生園庭があるため、小さな子ども達も安全に遊ぶことがで

西保育園長

き、日々体を動かして遊んでいる。

3. 木育

園舎建設と共に始まった木育も今年度で5年目となり、木に対する思いも深まっている。昨年度、年長児は木工に挑戦し、のこぎり体験をした。切った木片は紙やすりをかけ積み木にした。年中児は親子でマイ箸作りに取り組みながら、箸の材である白樫の木に実際に触れ、自然から命をいただくことの大切さを学んだ。年少児は自然に親しむ中で木に触れていくようにし、それぞれが目的を持って取り組んできた。今年度もMOTTAINAI工房、空間ケアなど今まで積み重ねてきた木育を大切に引き継ぎながら、自然や人の命を大切に作る心を育んでいきたいと思う。

4. 地域交流

現在、木造園舎で木に囲まれた生活を送っている。開放感があり回廊から入ってくる風が心地良い園舎であるが、使うことにより床、柱、机、椅子などの木が傷ついたりする。木を大切に保護していくために子ども達と一緒に油拭きをしたり、紙やすりがけをしていたが、ふれあい交流会の方が年間計画を立て自主的に取り組んでくださり、とても助かっている。

また、地域の方のハーブ畑でカモミール摘み、いちご畑でいちご摘みなどの交流も長年続いており、今後も触れ合ったり遊んだりする交流も行いながら地域の皆様と「子どもを真ん中においたまちづくり」を目指していきたいと思っている。北保育園園舎の特徴を大切にしながら、今年度は北保育園に関わりのある郷土「小口城址」や「小田街道」についても子ども達と一緒に学び、町の歴史を知ることによって大口町や北保育園園舎の理解、愛着を深めていけるようにしていきたいと思っている。

資料 No. 5—③

町立西保育園は5月現在で、3歳未満児53名、以上児127名、合計180名の子ども達が、元気いっぱい、楽しく生活している。

未満児から5歳児の発達に応じた目標の中で、今年度も3本の柱「体力作り、食育、木育」を主な取り組みとして進めていく。

1. 体力作り

西保育園の特色である「体力作り」ですが、増築工事の為、工事期間中は運動場が使えず、戸外で伸び伸びと遊ぶことができなくなるので、体力が落ちないようにどのように過ごしていくのか、職員間で話し合い各年次毎に計画を立てているところである。余野中央公園、ふれあいの森などの保育園周辺の恵まれた環境を生かし、園外散歩に出かける中で自然に親しみながらの体力作り、近接する歩道橋の上り下りをするなど、足腰を鍛えていく。体操教室を実施する中で、専門のコーチのアドバイスを受けながら、室内で

<p>大口中保育園 園長</p>	<p>もできる体力作りに取り組んでいきたいと思っている。工事の関係で時期を早めた間近に迫る 25 日の運動会では、これまでの体力作りの成果も交えたプログラムも取り入れている。</p> <p>2. 食育 「食育」では、食育サポートの方々の協力を得ながら引き続き行っていく。畑のいちご、玉ねぎの収穫終わると、今年度の栽培活動は一端お休みとなり、農業体験はできませんが、代わって絵本や紙芝居を使って保育の中で、また、管理栄養士さんを招いて話を聞くなどの食育を進めていく計画を立てている。</p> <p>3. 木育 「木育」では、園周辺、特にふれあいの森が近くにあるので、環境を生かした自然の中での木育、そして増築工事の中でた木の端材を使って簡単な木工工作を考えている。また、マイ箸作りを親子で体験する中で、モノを大切に作る気持ちを育てている。「食育」「木育」どちらも自然物、生き物が関連し、その恵みに感謝し、大切に作る心が育つような関わりがもてるようにしていきたいと思っている。</p> <p>交流活動では、世代間交流や地域交流をし、余野区の夏祭りに参加したり、千歳会の皆さん、民生委員の皆さんとの触れ合いを楽しみ、優しさ、思いやり、感謝の気持ちが育つように取り組んでいく。また、郷土を愛する心を育む活動では、自分たちが住んでいる土地にまつわる話を知ることで、郷土に関心を持ち想像力豊かな子どもに育つように取り組んでいく。</p> <p>また保育指針の改定により未満児保育の重要性がさらに打ち出され、入所希望者も多くなり、また増築もある。昨年度より引き続き、講師を招き保育士研修を行い、保育環境等未満児保育の見直しを行い、保育向上に努めていく。保護者の方から木造園舎や回廊の増築工事を楽しみにしているという声を聴く。工事期間中は、安全に気を付けながら子ども達と工事の様子を見たり、保護者には進捗状況を随時発信しながら、子ども達と保護者と一緒に完成を楽しみに過ごしていきたいと思う。</p> <p>資料 No. 5—④ 宝光福祉会大口中保育園は令和元年度 5 月 1 日現在、年長児 1 クラス 29 名、年中児 2 クラス 33 名、年少児 2 クラス 40 名、3 歳未満児は 0 歳児は 4 名、1 歳児 23 名、2 才児 22 名の合計 151 名のお子さんをお預かりしている。</p> <p>1. 保育について 子どもは遊びを通して、冒険心・好奇心を養い、集中力、工夫する力、創造する力、想像力、やり遂げる力、コミュニケーション能力など、人間として生きていくために必要な様々な力を獲得していく。日常の保育は主に「遊</p>
----------------------	---

び」「食事」「寝る」の3つの場面に分かれます。大口中保育園では、今年度より保育園内を、遊びのゾーン、食事のゾーン、午睡のゾーンを独立して確保し、時間で区切ることを優先させず、子ども達が遊びに集中する経験や、最後までやり遂げる満足感や達成感を大切にしたいと考え、このような取り組みを始めた。例えば、保育室に様々な遊びを用意し、室内をそれぞれの遊びに適した、いくつかのコーナーに分けることで、自分で遊びたいものを見つけたり、遊びに集中したりすることができる。毎日決まった場所に決まった遊びが用意されているので、子どもが自分の意思で、主体的に遊ぶことができる。また給食の面では、4・5歳児は、食べ物の好き嫌いも、食べさせられるのではなく、自分で判断して自分に合った適量を調節できるバイキング形式にした。自分の食べたいタイミングで自分の食べられる量を子ども自身で決めている。未満児や3歳児では、席に着いた子から順に、あいさつをして、食べはじめている。給食の準備・マナーなどをしっかり身につけてから始めていきたいと考えている。また、0～1歳児の保育については、愛着形成と個々の発達支援を大切に、学年別に分けるのではなく、歩行の確立など、発達段階を考慮した保育を行っている。

2. 体力作り

特色においては、体力作りに力を入れて取り組んでいる。安田式の可動式遊具を使い、雲梯・鉄棒・平均台を組み合せ、毎朝10間サーキット遊びを行っている。その他、総合遊具や竹馬・大縄跳び等のいろいろな遊びや、五条川の遊歩道の散歩などで、全身を使い体の発達を促している。

昨年度末の保護者アンケートでは、「体が丈夫になり、風邪をひかなくなった」「運動が好きになった」などの感想をいただいた。

3歳以上児は月1回から2回、2歳児は年6回、専門指導員による体操・運動遊び・運動器具遊び・プール指導の他、日常の保育の中で、安全で楽しく遊べる環境を整え、年間を通して体力づくりを意識した活動に取り組んでいる。また、夏期の間だけだが、足の指を刺激し体のバランスを整え鍛える目的からビーチサンダルを使用している。

3. その他の活動

①地域の方との交流では「城址の共」の方々と季節の野菜栽培・各年次の収穫野菜を使ったクッキング・季節のおやつクッキングを経験し、季節行事での交流を続けている。

今年度は、季節やハロウィン・クリスマス・ひな祭りなどの行事にちなんだ和菓子作りも年に数回計画している。

②外国人講師による英語で遊ぼう（月1回）年少は11月から経験していく。

③読み聞かせボランティア：メリーゴーランドさんによる絵本の読み聞かせ

	<p>や絵本の貸し出しを7月から行っていく。</p> <p>④生の歌や楽器の演奏を聴く機会を設け、情緒面を育てる取り組みも父母の会と一緒に行っていききたいと計画している。</p> <p>⑤遠足・運動会・発表会など、大きな行事にプロのカメラマンに写真を撮っていただき、ネット販売を行っている。</p> <p>⑥園だより・食育だよりの他に、毎日の「学年お知らせボード」を使って活動の様子を伝えたり、行事のある日は「ホットニュース」で写真を掲示し、紹介をしている。ご家庭との連携を大切にし、一緒に子育てをしていきたいと考えている。</p> <p>⑦行事や普段の園生活の中でのスナップ写真を年間4回展示販売させていたでている。また、年長児は一人ひとりオリジナルの卒園記念アルバムを作成していく。</p> <p>4. 施設整備について</p> <p>昨年度は、猛暑の日が多く、熱中症を予防するために戸外遊びやプール活動を中止する日もあった。そのため、今年度は熱中症対策として、4月に砂場に屋根を取り付け、日陰を作った。また、プールにも屋根を取り付けることにし、6月中旬から工事の予定をしている。大口中保育園の特色を大切にしつつ、子どもたちの健やかな成長と、アンケートによる保護者の皆様からの声や保育への安心感・信頼感を大切に、今後も取り組んでいきたいと思う。</p>
南保育園会長	<p>・5月22日 バザー 父母の会お楽しみ会 年3回</p> <p>①6月7日 ②8月6日オイスカ ③11月～1月の間に予定をしている。 6月～3月（第1月曜日・第3木曜日に開催） 保護者の有志の方（読み聞かせボランティア 友ちゃんズ）に読み聞かせをしていただく。</p>
北保育園会長	<p>・6月 ミスタードーナツの方に来ていただく。7月 江南警察署防犯教室 9月 オイスカ 12月12日 クリスマスパティー 2月 マクドナルドの方に来ていただく。</p>
西保育園会長	<p>・6月29日 バザー 9月18日 祖父母交流会 1月30日 イベント検討中</p>
大口中保育園会長	<p>・5月22日・23日資源回収 6月 ばっちリズム収録 8月1日 ピアノアンサンブル 9月7日 バザー</p>

事務局	<p>1 1月 TV 撮影応募中</p> <p>(3) 保育園の主食代・副食代の方針について (資料 No. 6)</p> <p>1 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、幼稚園等の主食代及び副食代については、保育園では保育料に含む形 (2号認定の主食代除く。) で現在は大口町が徴収をしている。令和元年10月から実施が予定されている幼児教育・保育の無償化にあたり、主食代及び副食代の徴収方法を保育園の保育料とは別に施設が実費徴収することを基本とする国の方針が示されたので大口町の考え方を説明させていただく。 <p>2 幼児教育・保育の無償化 (概要)</p> <p>3 幼児教育無償化に伴う食材料費の取り扱いについて (参考資料1)</p> <p>4 主食代・副食代の取り扱いについて 幼稚園・保育園の主食代及び副食代について、現行と無償化後 (案) について説明。</p> <p>6 その他</p> <p>閉会の挨拶</p>
-----	--